



ŌMIYA NEWS



No.121

2024年2月2日

JR東労組大宮地本

実質賃金をプラスにするにはベースアップは3.6%以上必要!

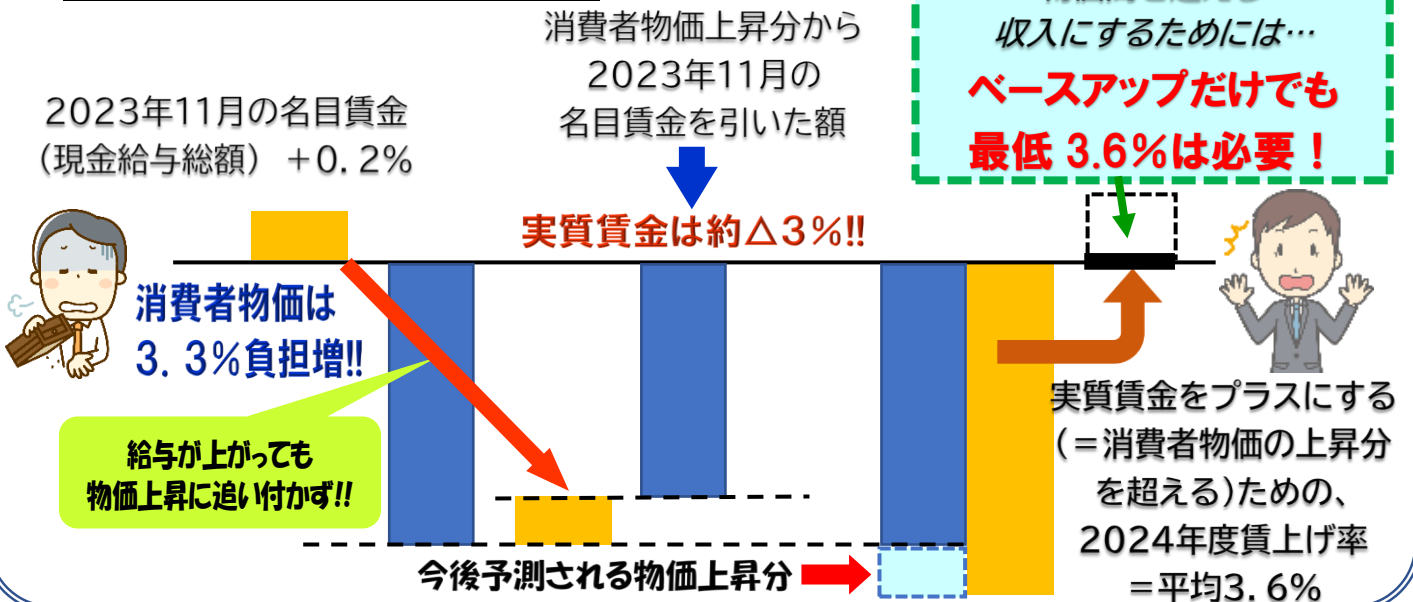
要求を堂々と掲げ、統一闘争でJR総連春闘をたたかい抜こう!! 24春闘情報パート⑦

実質賃金をプラス(=物価上昇以上の賃上げ)にするには、24春闘で3.6%以上のベースアップが必要になる事が、民間シンクタンクの試算により判明しました。

【実質賃金=「名目賃金」から物価上昇分を差し引いた数値。賃上げの恩恵を受ける実感を表した目安。】

※日本経済新聞1月23日の記事より引用

~実質賃金をプラスにするには?~



★2024年の家計負担⇒昨年比で**1人当たり29,000円増!**

※第一生命経済研究所による試算 (2023年12月26日・毎日新聞)

★2023年の消費者物価指数⇒**105.2**(生鮮食品をのぞく総合指数・2020年=100)

前年比3.1%上昇! 上昇は2年連続! 1982年(第二次石油危機)以来、41年ぶりの伸び!

(2024年1月20日・朝日新聞)

★2023年11月の実質賃金⇒**前年同月比3.0%減!**

(2024年1月10日・日本経済新聞) **20ヵ月連続のマイナス!**

★今年度は年間1万~15,000品目の食品が値上げ見込み!

★23春闘はベア5,975円(1.84%)で、**物価上昇を考えると実質賃下げ!**



賃上げしても物価高に追いつかない...

厳しい生活実感を打ち破るため JR総連としてベア 12,000円要求を決定!

【JR 総連平均賃金の4%に相当】 ※JR 東労組としては2月9日の定期中央委員会で方針を決定します

会社は今こそ大幅賃上げで職場の努力に報いるべきだ!

職場で議論を深め、東労組への結集を呼びかけ、24春闘勝利を勝ち取ろう!!